

令和元年度

事業報告書



一般財団法人 石川県予防医学協会

目 次

一般財団法人石川県予防医学協会定款概要 (第1章総則抜粋)

はじめに	1	6 環境検査	14
1 令和元年度事業実施概要	3	(1) 食品検査	15
2 職域保健	5	(2) 水質検査	16
(1) 総合健康診断・定期健康診断	5	(3) 簡易専用水道検査	16
(2) がん検診	6	(4) 作業環境測定	16
(3) 特殊健康診断	6	(5) 計量証明事業	17
(4) 人間ドック	6	7 総務事項	18
(5) 健康支援	6	(1) 理事会開催状況	18
(6) ストレスチェック	6	(2) 評議員会開催状況	18
3 地域保健	7	8 啓発活動報告	19
(1) 健康診査	7	9 学会発表状況	19
(2) がん検診	7	10 会議・研修実施状況	19
4 学校保健	8		
(1) 尿検査	8		
(2) 心臓検診	10		
(3) 貧血検査	11		
(4) 寄生虫検査	11		
5 医学検査	12		

一般財団法人石川県予防医学協会定款概要（第1章総則抜粋）

《名称》

一般財団法人 石川県予防医学協会

《設立》

1952年（昭和27年）10月 8日

《一般財団法人移行》

2013年（平成25年） 4月 1日

《住所》

金沢市神野町東115番地

《目的》

当協会は、疾病の予防、健康の保持及び増進並びに生活環境の保全を図るために必要な事業を行い、もって公衆衛生の向上と地域社会の発展に寄与することを目的とします。

《事業》

当協会は、前項の目的を達成するため、次の事業を行います。

- (1) 予防医学に関する各種健康診断、診療及び検査事業
- (2) 公衆衛生に関する普及啓発及び助成事業
- (3) 公衆衛生に関する調査研究事業
- (4) 生活環境の保全に関する必要な調査研究事業
- (5) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

令和元年度 事業報告書

一般財団法人 石川県予防医学協会
理事長 松崎 充意

《はじめに》

令和元年12月に発生した新型コロナウイルスは人々の願いもむなしく世界各地で感染拡大を続け、この5月末時点で世界全体の感染者数は約600万人、死者数も約37万人に達しました。現在、国によっては感染者数が減ってきたところもありますが、第2波、第3波の懸念もあり、また、世界全体で見ると感染のペースが落ちておらず、世界の人々は不安の中で暮らしています。

我が国でも1月より徐々に感染が広がりはじめ、政府は爆発的な感染拡大を防止するため4月7日に7都府県を対象に外出自粛や施設制限の要請を主な柱とする緊急事態宣言を発出、16日には対象を全国に広げ、石川県は重点的に対応が必要な「特定警戒都道府県」に指定されました。そのような中、感染拡大を防止するために国民は自主的に行動を抑制し、企業や事業者は営業自粛やテレワークなどを行い、治療に当たる医療関係者や国、自治体の皆さまのご尽力により、少しずつ感染者が減少して参りました。

政府は感染状況、医療提供体制、PCR検査などの監視体制、そして国民の気持ちや甚大な影響を被った経済状況も鑑み、5月14日に石川県を含む39県の緊急事態宣言を解除、5月25日にはついに全国的に解除し、数か月かけ段階的に様々な制限を緩めていくことを発表しました。しかしながら、現在も感染者が増えている地域もあり、感染拡大の第2波がいつ到来してもおかしくない状況であることは間違いなく、今こそ国民一人ひとりのさらなる協力と努力が求められています。

当協会の事業でも新型コロナウイルスの影響が今年2月から出始め、お客様から感染防止のために健診や人間ドックの延期など日程変更のご相談やご要望をいただくようになりました。当初より感染防止対策を徹底し事業を行ってまいりましたが、県内感染者が増加し、先行して発出された石川県独自の緊急事態宣言に基づき、4月14日に健診・人間ドックなど一部事業を休止し、感染者数が落ち着き、宣言が解除された後の5月25日から再開をさせていただきました。

今後も健診・人間ドックを含め、すべての事業において感染防止対策を徹底し、適切な環境を整え、お客様が安心して、安全に協会をご利用いただけるように努めていきたいと存じます。

日本も世界も未曾有の事態になっておりますが、そのような時だからこそ、県民の皆様の健康増進に寄与するために、役職員全員で力を合わせて予防医学事業に邁進したいと存じます。

以下、令和元年度展開しました事業を概括いたします。

＜基本理念＞

「すべては お客様のために 社会貢献のために 職員と家族のために」

＜行動指針＞

1. 思いやりの心
 - ・何事にも思いやりの心を持って取り組みます。
1. チャレンジ精神
 - ・創造力を持ち、失敗を恐れず挑戦し続けます。
1. 精度管理の徹底
 - ・「精度管理」を最優先とし、正確な健診、検査を実施いたします。
1. コンプライアンス（法令・規則の遵守）
 - ・関係法令、自主規準を必ず遵守します。

1. 継続的改善

- ・高品質のサービスを提供するため、継続的な改善に努めます。

1. 人材育成

- ・自らの役割に責任を持ち、高度な専門性を身に付け、情熱的に行動する人材の育成を推進します。

1. 楽しくやりがいのある働きやすい職場づくり

- ・基本理念実現に向けて、楽しくやりがいのある働きやすい職場づくりはとても大切です。役職員一人ひとりが主体的に行動し、全員で力を合わせてより良い職場をつくりまします。

<令和元年度スローガン>

「未来に向かって 笑顔！ 団結力！ スピード感！」

<事業報告概要>

<事業部門>

1. 新型コロナウイルスの感染拡大防止について、健診受診時の「3密」回避を目的とした定員の制限、発熱または風邪症状の方の受診延期、検査機器等の消毒の徹底、受診者様及び全職員のマスクの装着等、お客様に安心、安全に受診いただく取り組みを行って参りました。
2. 健康診断部門では、新型コロナウイルスの影響により定期健康診断等一部の項目では受診者数は減少しましたが、血液検査、心電図検査を含む全項目の受診促進及び受診率 100%の推進については、総合健康診断では 127 名、定期健康診断の全項目では 4,088 名の受診者数増加を実現しました。
3. 「健康経営」の推進については、石川県庁様の企業対抗型健康づくり事業のプロポーザルに参加し、当協会の「ワクワク健康カップ」の企画が 2 年連続で採用され、45 社 381 名の方が申し込まれました。今回は、運動（歩数）、食（バランスの良い食事の摂取）、健康クイズを継続するとともに、新たに良質な睡眠の確保を取り入れ、参加された企業の皆さまの「健康経営」に寄与しました。
4. 臨床検査部門について、自動グリコヘモグロビン分析計の更新、PC 病理システムの導入、遺伝子検査体制の強化をはじめとした検査精度の維持・向上及び業務の効率化に取り組みました。
5. 環境検査部門について、HACCP 導入に関するコンサルタント事業では 52 社様と契約し、食品製造業の総合的な衛生管理向上を支援させていただき、そのうち 3 社様は、JFS 規格、FSSC22000 といった高度な食品安全規格の認証を取得されました。HACCP の普及推進を目的とした HACCP 講習会では、石川県のみならず、富山、福井両県を含めて前年度の 2 倍となる 26 会場で講師を務める等、北陸三県の食品の安心・安全の推進に努めました。

<管理部門>

1. 働き方改革については、令和 2 年 3 月 2 日に 3 年連続で「健康経営優良法人 2020 大規模法人部門」の認定を取得しましたが、上位 500 法人が認定されるホワイト 500 の取得には至りませんでした。改めて、健康経営の本質を一から見直し、健康増進、生活習慣の行動変容、更なるコミュニケーションの活性化によるチームワークの充実、業務の効率化やフレックスタイム制の積極的な展開を通じて、「楽しくやりがいのある働きやすい職場づくり」を推進します。
2. 予防医学事業の専門機関として、前年度に引き続き、年間を通して外部講師による「中堅リーダーパワーアップ研修」や「次世代リーダー育成研修」を行い、果敢に挑戦する人材の育成に努めました。
3. 新健康診断基幹システムについては、詳細な運用規定の構築等万全な体制を整えるため、令和 2 年 4 月の稼働を延期した中、将来的な AI の活用や早期の RPA の導入を視野に入れ、結果の納期短縮、正確性と生産性・効率化の向上を目的に、鋭意準備を進めました。
4. 新館建設については、健康診断受診者様の定員拡充、施設の快適性を目的として、現在地の近隣での用地取得（案）、移転（案）にて鋭意検討を重ねてきました。今後も多角的かつ慎重に協議を進めて参ります。

1 令和元年度事業実施概要

令和元年度事業の実施状況は表1のとおりです。

職域保健について、総合健康診断、定期健康診断・全項目は受診者数が増加しましたが、定期健康診断・省略項目、人間ドックは、新型コロナウイルスの影響等により、減少しました。

地域保健について、健康診査、がん検診は全体的

には減少しました。

学校保健については、少子化等により、全体的に減少しました。

医学検査については、他の健診機関からの検査受託を継続しました。

環境検査については、食品検査が堅調に増加しました。

表1 健診・検査実施状況

(その1)

△印は減少

No	健診・検査の種類	令和元年度 受診者数・件数	平成30年度 受診者数・件数	増減	増減率
1	① 健康診断部門／職域保健				
2	総合健康診断	37,959	37,832	127	0.3%
3	定期健康診断 全項目	131,467	127,379	4,088	3.2%
4	省略項目	26,101	31,868	△ 5,767	-18.1%
5	小計	157,568	159,247	△ 1,679	-1.1%
6	胃がん検診	33,339	34,057	△ 718	-2.1%
7	大腸がん検診	50,724	48,905	1,819	3.7%
8	乳がん検診	10,635	10,386	249	2.4%
9	子宮がん検診	8,300	8,990	△ 690	-7.7%
10	生活習慣病検査	31,838	30,241	1,597	5.3%
11	感染症検査・予防接種	43,191	40,247	2,944	7.3%
12	精密検査	17,587	17,246	341	2.0%
13	特殊健康診断 有機溶剤	10,570	10,549	21	0.2%
14	じん肺	3,086	2,973	113	3.8%
15	特定化学物質	7,753	7,393	360	4.9%
16	VDT	2,066	2,071	△ 5	-0.2%
17	その他	10,837	12,472	△ 1,635	-13.1%
18	小計	34,312	35,458	△ 1,146	-3.2%
19	人間ドック	7,753	7,864	△ 111	-1.4%
20	健康支援	3,534	3,252	282	8.7%
21	ストレスチェック	65,719	66,542	△ 823	-1.2%
22	腸内細菌検査	117,981	120,854	△ 2,873	-2.4%

(その2)

△印は減少

No	健診・検査の種類	令和元年度 受診者数・件数	平成30年度 受診者数・件数	増減	増減率	
23	②健康診断部門／地域保健					
24	健康診査	17,731	18,536	△ 805	-4.3%	
25	風疹抗体価	2,125	0	2,125		
26	肺がん・結核検診	X線検査	25,764	26,939	△ 1,175	-4.4%
27		CT検査	601	830	△ 229	-27.6%
28		小計	26,365	27,769	△ 1,404	-5.1%
29	胃がん検診	7,211	7,613	△ 402	-5.3%	
30	大腸がん検診	17,817	18,002	△ 185	-1.0%	
31	乳がん検診	3,009	3,351	△ 342	-10.2%	
32	子宮がん検診	2,627	2,720	△ 93	-3.4%	
33	前立腺がん検診	4,148	4,419	△ 271	-6.1%	
34	健康支援・骨密度測定	2,015	2,074	△ 59	-2.8%	
35	③健康診断部門／学校保健					
36	尿検査	151,425	155,272	△ 3,847	-2.5%	
37	寄生虫検査(ぎょう虫)	19,256	25,651	△ 6,395	-24.9%	
38	学校心電図検査	12,311	12,284	27	0.2%	
39	学校健康診断	26,867	24,534	2,333	9.5%	
40	感染症検査・予防接種	10,255	10,388	△ 133	-1.3%	
41	④クリニック部門					
42	保険診療	件数	7,113	6,909	204	3.0%
43		点数	10,215,059	9,624,194	590,865	6.1%
44	⑤臨床検査部門					
45	臨床検査	20,224	19,386	838	4.3%	
46	⑥環境検査部門					
47	食品検査	16,501	16,277	224	1.4%	
48	水質検査	128	5,743	△ 5,615	-97.8%	
49	簡易専用水道検査	841	883	△ 42	-4.8%	
50	作業環境測定	2,466	2,515	△ 49	-1.9%	
51	計量証明事業検査	359	1,618	△ 1,259	-77.8%	

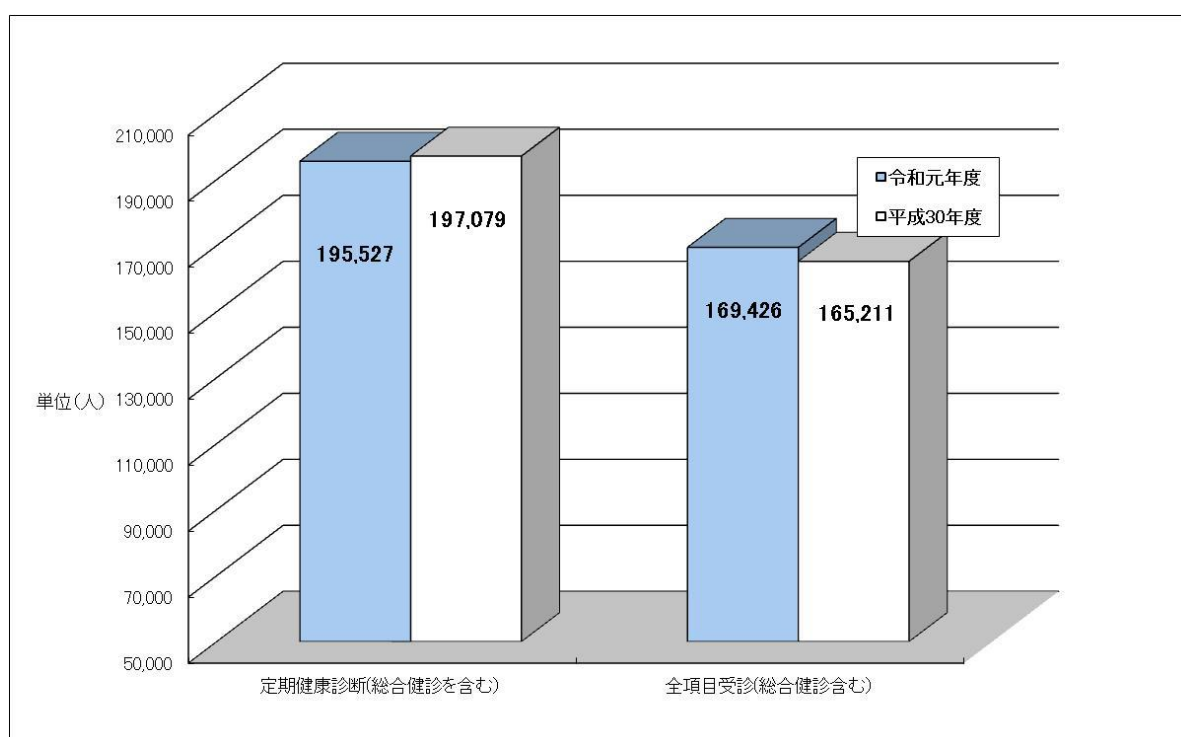
2 職域保健

令和元年度は、定期健康診断や特定健診にがん検診等を組み合わせた総合健康診断の提案を継続して渉外活動を展開し、健康診断及びがん検診の受診者は増加しました。

具体的な項目として、全国健康保険協会の生活習慣病予防健診を中心とした総合健康診断、定期健康診断全項目の受診者数は増加しました。

人間ドックについては、昨年度からの内視鏡鎮静剤の運用変更及び新型コロナウイルス感染症の影響により、受診者数が減少しました。また、実質4年目となったストレスチェックは減少しました。

図1 定期健康診断実施状況



(1) 総合健康診断、定期健康診断

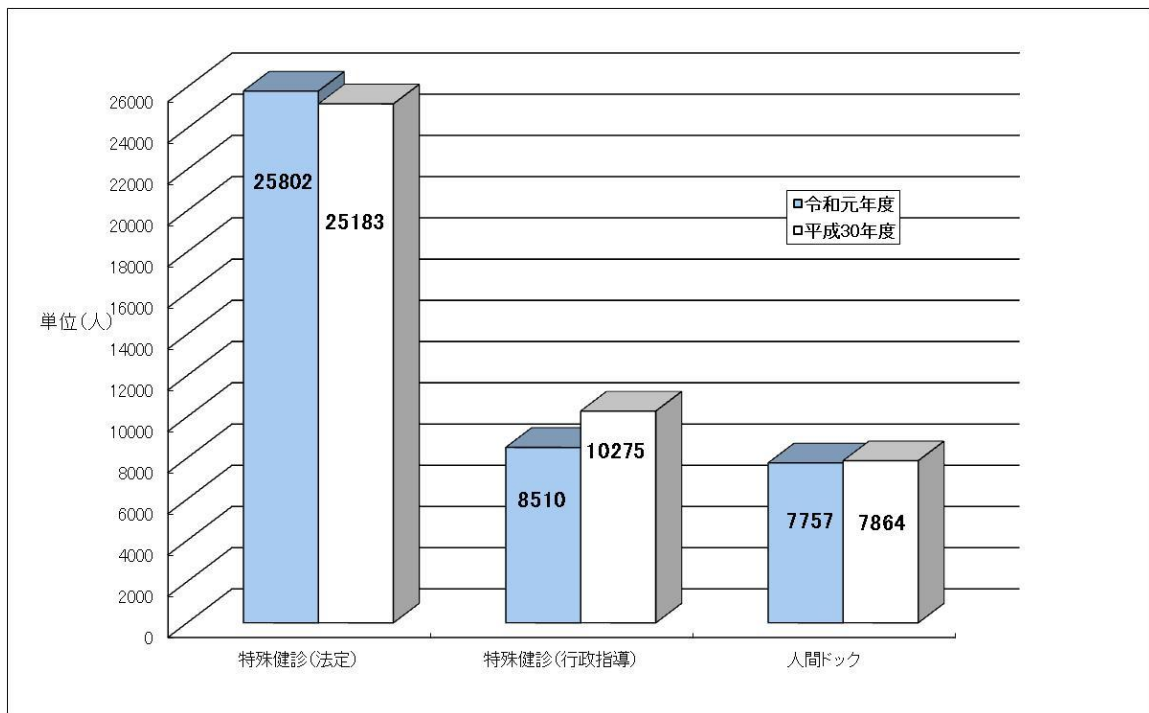
実施状況は図1のとおりです。総合健康診断、定期健康診断を合わせた健康診断の受診者数の合計は、1,552人減の195,527人、心電図検査・血液検査を含む全項目受診者数は4,215人増の169,426人でした。

法定の定期健康診断にがん検診等を加えて実施している総合健康診断は、健康保険組合・共済組合等の助成も多いため、助成制度を有効に利用いただけるよう、出張・外来健診の両方で利用促進に努め

ました。

労働安全衛生規則第44条に基づく定期健康診断は脳血管疾患、心臓疾患、糖尿病、腎臓病、高血圧症、貧血等の早期発見やリスクの評価には有効な検査内容であり、健康管理の基本的健康診断として広く利用いただいております。総合健康診断は127人増の37,959人でした。定期健康診断における心電図検査・血液検査を含む全項目受診者数は4,088人増の131,467名でした。

図2 特殊健康診断等実施状況



(2) がん検診

がん検診については、大腸がん検診の受診者数が1,819人増の50,724人、乳がん検診が249人増の10,635人でしたが、胃がん検診は718人減の33,339人、子宮がん検診が690人減の8,300人でした。

(3) 特殊健康診断

実施状況は、図2のとおりです。全体では1,146人減の34,312人が受診され、有機溶剤は10,570人、じん肺健診は3,086人、特定化学物質等の法定特殊健診は7,753人、VDT健診等の行政指導特殊健診は2,066人でした。

(4) 人間ドック

人間ドックについては、平成30年4月からの内視鏡鎮静剤を使用した際の運用変更および新型コロナウイルス感染症の影響により、111人減の7,753人でした。

(5) 健康支援

健康支援事業では、全体では282人増の3,534人、特定保健指導は97人増の1,242人でした。

(6) ストレスチェック

労働安全衛生法改正に基づき平成27年12月1日に施行されたストレスチェックについて、受検者数は823人減の65,719名でした。

3 地域保健

市町との連携をより強化し、受診案内等の事前周知及び包括健診の実施を提案したことにより、受診率の向上に取り組みましたが、令和元年度は全体的に受診者数が減少しました。

受診会場においては、各市町の要望を盛り込み、特定健康診査対象外年齢の方の基本健康診査、集合契約での被扶養者の特定健康診査、各がん検診を同時に受診できる環境作り及び円滑な受診体制への提案を積極的に行いました。

実施状況は、表2のとおりです。

(1) 健康診査

定期日程終了後に市町と調整し、追加日程の調整等に取り組みましたが、健康診査の総受診者数は805人減の17,731人でした。

(2) がん検診

肺がん・結核検診は1,404人減の26,365人、胃がん検診は402人減の7,211人、大腸がん検診は185人減の17,817人、子宮がん検診は93人減の2,627人、乳がん検診は342人減の3,009人、前立腺がん検診は271人減の4,148人、健康支援・骨密度測定は59人減の2,015人でした。

表2 地域保健市町別実施状況

市町村	基本					胸部X線		喀痰	胃部	大腸	子宮	乳房	前立腺	マルチCT	骨密度
	若年	特定	後期高齢	その他	国保外	39歳以下	40歳以上								
金沢市		568	88				585	26	581	451		236	107	66	114
小松市	209	441	46	2	132		8,985	113	2,807	7,853			176	125	
七尾市	69	1,987	612	5	276								1,348		
能美市	453	2,136		1	453		3,909	58	1,691	4,021			821	325	280
川北町	67	220			61		382	1	121	264	※2	217	158	85	354
野々市市	205	346	2		9		1,795	16							
白山市	336	2,270	398	5	353								381		
内灘町	258	1,036		7	328		1,401	30	742	1,239	792	1,067	426		782
津幡町	284	952	331	3	339		1,638	11	830	1,447	774	776	47		100
志賀町	16	1,115	464	3	148		2,111	74					83		
中能登町	21	882	396	9	193		1,800	26		1,168			357		163
穴水町									5						
輪島市							1,988	17			41	40			
かほく市	273	1,301		2	322		1,755	8	※1 434	1,374	※3 873	909	244		222
合計	2,191	13,254	2,249	37	2,614		25,764	380	7,211	17,817	2,627	3,009	4,148	601	2,015

※1 かほく市 : 胃ABC検診

※2 川北町 : 子宮147名 内13名HPV検査実施

※3 かほく市 : 子宮873名 内84名HPV検査実施

4 学校保健

児童・生徒の健康管理については、心臓検診（心電図・心音図心電図検査）、腎臓病・糖尿病検診（尿検査）、貧血検査、ぎょう虫・寄生虫検査を集団検査として実施しております。これらの検診・検査は、小児期における心臓病・腎臓病・糖尿病・貧血症・感染症等の早期発見や生活指導における情報として活用していただいております。

令和元年度も引き続き更なる精度管理の徹底、正確・迅速な結果報告に取り組みました。また、より

効果的な検診・検査体制の構築に努め、学校保健部会では、県教育委員会・学校保健部会の先生方からの助言をいただき、精密検査未受診者への案内を強化し、精密検査の受診率向上に努めました。

(1) 尿検査

尿検査は、小児期における腎疾患と若年性糖尿病の早期発見を目的としています。令和元年度の受診者数は、3,847名減の151,425名でした。

実施状況は、表3、4のとおりです。

表3 尿検査（腎臓病検診）実施状況

区分	結果	一次検尿			二次検尿				
		実施者数 A(人)	陽性者数*1 B(人)	陽性率 B/A(%)	実施者数 C(人)	提出率 C/B(%)	陽性者数 D(人)	2次陽性率 D/C(%)	陽性率 D/A(%)
幼稚園 *2	男	11,912	144	1.21	130	90	30	23.08	0.25
	女	11,243	288	2.56	258	90	73	28.29	0.65
	計	23,155	432	1.87	388	90	103	26.55	0.44
小学校	男	30,558	359	1.17	345	96	60	17.39	0.20
	女	29,677	854	2.88	818	96	197	24.08	0.66
	計	60,235	1,213	2.01	1,163	96	257	22.10	0.43
中学校	男	15,380	670	4.36	628	94	105	16.72	0.68
	女	14,953	887	5.93	826	93	224	27.12	1.50
	計	30,333	1,557	5.13	1,454	93	329	22.63	1.08
高等学校	男	14,659	620	4.23	598	96	73	12.21	0.50
	女	13,957	789	5.65	710	90	117	16.48	0.84
	計	28,616	1,409	4.92	1,308	93	190	14.53	0.66
その他の学校	男	1,736	74	4.26	70	95	16	22.86	0.92
	女	767	60	7.82	44	73	11	25.00	1.43
	計	2,503	134	5.35	114	85	27	23.68	1.08
男計		74,245	1,867	2.51	1,771	95	284	16.04	0.38
女計		70,597	2,878	4.08	2,656	92	622	23.42	0.88
合計		144,842	4,745	3.28	4,427	93	906	20.47	0.63

*1・・・蛋白・潜血併用で、どちらか一方でも±以上の者とする。

*2・・・保育所・保育園を含む。

表4 尿検査（糖尿病検診）実施状況

結果 区分	一次検査			二次検査					
	実施者数 A(人)	陽性者数*1 B(人)	陽性率 B/A(%)	実施者数 C(人)	提出率 C/B(%)	陽性者数 D(人)	2次陽性率 D/C(%)	陽性率 D/A(%)	
幼稚園 *2	男	11,912	3	0.03	2	67	1	50.00	0.01
	女	11,243	2	0.02	1	50	0	0.00	0.00
	計	23,155	5	0.02	3	60	1	33.30	0.00
小学校	男	30,558	11	0.04	9	82	4	44.44	0.01
	女	29,677	2	0.01	1	50	1	100.00	0.00
	計	60,235	13	0.02	10	77	5	50.00	0.01
中学校	男	15,380	16	0.10	14	88	4	28.57	0.03
	女	14,953	9	0.06	7	78	3	42.86	0.02
	計	30,333	25	0.08	21	84	7	33.33	0.02
高等学校	男	14,659	20	0.14	16	80	2	12.50	0.01
	女	13,957	17	0.12	12	71	5	41.67	0.04
	計	28,616	37	0.13	28	76	7	25.00	0.02
その他の学校	男	1,736	4	0.23	4	100	4	100.00	0.23
	女	767	1	0.13	1	100	0	0.00	0.00
	計	2,503	5	0.20	5	100	4	80.00	0.16
男計	74,245	54	0.07	45	83	15	33.33	0.02	
女計	70,597	31	0.04	22	71	9	40.91	0.01	
合計	144,842	85	0.06	67	79	24	35.82	0.02	

*1・・・尿糖が+以上の者とする。

*2・・・保育所・保育園を含む。

(2) 心臓検診

学校や家庭での心臓病による突然死を防ぐことを目的に、基本的に小中学校1年生には、心音

図心電図検査、高等学校1年生には、心電図検査を専門医に指導いただき実施しております。実施状況は、表5のとおりです。

表5 学校心臓検診実施状況

区分		結果	2019年度(最終報告)				2018年度(最終報告)			
			実施者数 A(人)	精検対象 数B(人)	精検率 B/A(%)	精検率 全国(%)	実施者数 A(人)	精検対象 数B(人)	精検率 B/A(%)	精検率 全国(%)
男	小学校	1年生	349	14	4.01	2.80	347	16	4.61	2.83
		4年生	110	8	7.27		138	5	3.62	
		他学年	5	0	0.00		3	0	0.00	
		計	464	22	4.74		488	21	4.30	
	中学校	1年生	475	26	5.47	3.54	490	18	3.67	3.62
		他学年	2	0	0.00		1	0	0.00	
		計	477	26	5.45		491	18	3.67	
	高等学校	1年生	5,273	254	4.82	3.94	5,187	240	4.63	4.10
		他学年	26	8	30.77		17	7	41.18	
		計	5,299	262	4.94		5,204	247	4.75	
		特別学校	225	27	12.00		214	22	10.28	
	合計	6,465	337	5.21		6,397	308	4.81		
女	小学校	1年生	308	14	4.55	2.02	359	19	5.29	1.96
		4年生	141	10	7.09		122	6	4.92	
		他学年	3	1	33.33		1	0	0.00	
		計	452	25	5.53		482	25	5.19	
	中学校	1年生	457	19	4.16	2.99	457	12	2.63	2.91
		他学年	1	0	0.00		0	0	0.00	
		計	458	19	4.15		457	12	2.63	
	高等学校	1年生	4,817	157	3.26	2.57	4,827	127	2.63	2.56
		他学年	13	3	23.08		6	2	33.33	
		計	4,830	160	3.31		4,833	129	2.67	
		特別学校	106	12	11.32		117	20	17.09	
	合計	5,846	216	3.69		5,889	186	3.16		
	合計	12,311	553	4.49		12,286	494	4.02		

※精検対象者は、要精密検査者と定期的医療機関受診者

※精検率全国値は、文部科学省の学校保健統計調査2019年度統計表一覧を引用

(3) 貧血検査

食生活のアンバランスが原因となる鉄欠乏性貧血やその予備群の早期発見と正しい食生活指導のために、耳朶採血法・静脈採血法で貧血検査を実施しております。

重要な検査である貧血検査については、学校保健安全法に定められていないこと及び検査が侵襲的方法であるため実施学校数が少ない現状です。

(4) 寄生虫検査

平成 28 年度から学校保健安全法が改正され、ぎょう虫検査につきましては、任意項目となりました。令和元年度の実施件数は、6,395 件減の 19,256 件でした。

実施状況は、表 6 のとおりです。

表6 寄生虫検査実施状況

結果 区分	2日法			4日法		
	実施者数 A(人)	保卵者数 B(人)	保卵率 B/A(%)	実施者数 A(人)	保卵者数 B(人)	保卵率 B/A(%)
幼稚園 *2	6,294	0	0.00	12,888	34	0.26
その他の学校	74	0	0.00	0	0	0.00
合計	6,368	0	0.00	12,888	34	0.26

*1・・・同一学校で年2回実施している場合は、延べ数で集計した。

*2・・・保育所・保育園を含む。

*3・・・寄生虫実施なし

5 医学検査

令和元年度も健診、ドック、クリニックの検体検査において、精度の維持向上を基本とし、お客様が満足できるサービスの提供に貢献する検査体制の構築に取り組んでまいりました。臨床検査部では、自動グリコヘモグロビン分析計の更新、PC病理の導入、遺伝子検査体制の強化に取り組みました。令和元年度臨床検査部で実施した検査は、表7に示したように、合計で3,601,784件でした。

血液学・免疫学・大腸がん(便潜血反応)検査は増加しましたが、尿・糞便等一般検査、遺伝子関連・染

色体検査は減少しました。検査の外部委託件数は14,892件、主に尿中代謝物検査でした。

一般臨床検査のうち、学校検尿検査149,336件、ぎょう虫卵検査19,185件(前年度比76.1%)を実施しました。大腸がんは対前年度2,453件増の75,814件を実施しました。また、ノロウイルス検査は、対前年度283件増の955件を実施しました。

医療法等の一部を改正する法律により、検体検査分類が変更され見直しをしました。

表7 検査実施状況

△印は減少

検査別	令和元年度	平成30年度	対前年度比増減件数
	件数	件数	
尿・糞便等一般検査	186,508	195,536	△9,028
血液学的検査	623,070	610,944	12,126
遺伝子関連・染色体検査	217,596	223,944	△6,348
免疫学的検査	130,643	125,944	4,699
生化学的検査	2,339,410	2,340,181	△771
大腸がん検査	75,814	73,361	2,453
病理学的検査	13,851	13,862	△11
その他の検査	14,892	14,628	264
合計	3,601,784	3,598,400	3,384

表8 石川県成人病予防センター検査実施状況

△印は減少

検査別	令和元年度	平成30年度	対前年度比増減件数
	件数	件数	
一般臨床検査	9	15	△6
血液学的検査	16,726	17,459	△733
血清学的検査	1,362	1,404	△42
臨床化学的検査	16,954	16,698	256

表9 検査実施状況

△印は減少

検査別	令和元年度	平成30年度	対前年度比増減件数
	件数	件数	
SS	110,981	114,369	△3,388
EHEC	104,237	107,371	△3,134
O157	1,423	1,532	△109
腸内細菌検査計	216,641	223,272	△6,631
ノロウイルスリアルタイムPCR法	955	672	283

6 環境検査

環境検査部門では、精度の維持向上、検査と事務の効率化、お客様に有用な検査の立ち上げ等を進めました。HACCP 導入に関するコンサルタント事業は、52 社と契約し、食品製造業の総合的な衛生管理向上を支援しています。そのうち3社は、JFS 規格、FSSC22000 といった高度な食品安全規格の認証を取得しました。HACCP の普及推進を目的とした HACCP 講習会は、石川県のみならず、富山、福井両県を含めて前年度の2倍となる26会場で講師を務め、北陸三県の食品等事業者様に理解を深めていただきました。昨年度に引き続き、石川県食品衛生協会様が主催する旅館・ホテル、菓子製造、漬物製造の各事業者様向けの「ステップアップ衛生

管理セミナー」、石川県食品協会様主催の「JFS 規格解説、導入事例セミナー」や新たに石川県調理師会様、富山、福井県の農林水産部様や富山県食品衛生協会様からもご依頼をいただきました。

今年度の環境検査事業実施状況につきましては、表10のとおりです。

なお、厚生労働省登録水質検査機関として、昭和54年3月以来40年に渡り展開してまいりました水質検査、計量証明事業の水質関連項目につきまして、環境検査事業の実施体制強化を目的として、平成31年3月31日をもって事業を終了いたしました。今後は、これまで以上に食品検査、簡易専用水道検査、作業環境測定、計量証明事業（ばい煙測定等）を通じてお客様に貢献してまいります。

表10 環境検査事業実施状況

△印は減少

検査内訳	令和元年度	平成30年度	対前年度比増減件数
食品検査	16,501	16,227	274
水質検査	68	5,743	△5,675
簡易専用水道	841	883	△42
作業環境測定	2,466	2,515	△49
計量証明事業	359	1,618	△1259
合計	20,235	27,036	△6,801

(1) 食品検査

全体の検査件数は 274 件増の 16,501 件でした。検査体制では、標準作業書（SOP）の改訂、信頼性確保部門が計画する外部精度管理の参加及び結果の検証、食品衛生登録検査機関協会主催の研修会への参加及び信頼性確保部門による内部点検等により、精度管理の徹底に取り組みました。また、ISO17025 の認定を取得している微生物検査においては、良好な検査精度を維持し、更新審査を受け、認定されました。また、理化学検査についても認定取得を目指し、令和 2 年 9 月に審査を受ける予

定です。令和元年度は、審査準備のため不確かさや妥当性評価のデータ取りを行いました。

衛生検査につきましては、食品衛生法の一部改正による HACCP 制度化が令和 3 年 6 月に控えていることもあり、3 年目を迎えた HACCP 導入支援事業が前年度からの継続支援も含めて 52 社（前年度比 220%）に増加しました。また、県内をはじめ、富山や福井県の行政関連機関や食品関連団体と連携し、HACCP 普及推進に関する講習会を 26 回（前年度比 220%）開催することができました。食品検査実施状況は、表 11 のとおりです。

表 11 食品検査（項目別）実施状況

△印は減少

項目分類	令和元年度	平成 30 年度	対前年度比 増減件数
細菌検査	9,005	8,608	397
衛生検査	4,224	4,714	△490
理化学検査	1,317	1,198	119
有害物質検査	700	284	416
規格検査	591	825	△234
異物検査	158	203	△45
輸入食品検査	61	61	0
放射性物質検査	290	266	24
その他検査	103	94	9
HACCP 導入支援業務	52	24	28
合計	16,501	16,227	274

(2) 水質検査

全体の検査件数は 128 件でした。水質検査につきましては、平成 31 年 3 月 31 日をもって事業を

終了いたしました。検査対応できる細菌検査等を実施しました。

水質検査実施状況は表 12 のとおりです。

表 12 水 質 検 査 実 施 状 況

△印は減少

種別	市 町 名	令和元年度	平成 30 年度	対前年度比 増減件数
水 道 水	白 山 市	0	762	△762
	加 賀 市	0	192	△192
	宝達志水町	0	105	△105
	七 尾 市	0	407	△407
	中能登町	0	0	0
	穴 水 町	0	55	△55
	小 計	0	1,521	△1,521
その他の水道水		128	2,166	△2,098
井 戸 水	一 般 飲 料 水	0	259	△259
	食 品 営 業 用 水	0	303	△303
浴槽・プール水等		0	1,494	△1,494
合 計		128	5,743	△5,675

(3) 簡易専用水道検査

全体の検査件数は 42 件減の 841 件（現場検査：704 件、書類検査：136 件、再発行：1 件）でした。

全国給水衛生検査協会主催の外部精度管理調査では最上位の S ランクをいただきました。精度管理について、全国給水衛生検査協会主催の研修会への積極的参加、信頼性確保部門による内部監査の継続実施により精度の向上に努めました。

数が増加し、作業場数では前年比 49 件減の 2,466 件でした。監督官庁の行政指導が引き続き強化されたこと及び事業者様の新工場設立等により、有機溶剤、特定化学物質など増加しましたが、工場閉鎖などによる減少も見られ、全体として減少しました。また、『作業環境測定士からのアドバイス』を報告書に継続して添付した結果、施設の不具合、労働者様の行動、有害物の発散の気付き等多くの改善につながりました。

日本作業環境測定協会石川分会主催の他機関視察により精度向上、情報の収集に努めました。作業環境測定の実施状況は、表 13 のとおりです。

(4) 作業環境測定

検査件数については、延事業場数及び延作業場

表 13 労働安全衛生法第65条に基づく定期作業環境測定実施状況

測定対象事業場		事業所数	延作業場数	延単位作業場の管理区分		
				第一管理区分	第二管理区分	第三管理区分
鉱物性粉じん	石綿	0	0	0	0	0
	石綿以外	62	348	261	34	53
特定化学物質		145	622	570	34	23
金属類	鉛	3	3	3	0	0
	鉛以外	16	99	96	1	2
有機溶剤		184	719	585	90	44

(5) 計量証明事業

全体の検査件数は1,259件減の359件でした。部門別にみると、大気測定は、新規ホテルなどからの依頼により微増でした。水質検査については、

事業終了による大幅な減少となっています。また、大気測定の実験機器を更新し、検査精度、測定時間の短縮に努めました。計量証明事業の実施状況は表14のとおりです。

表 14 計量証明事業実施状況

△印は減少

検査分類	令和元年度	平成30年度	対前年度比 増減件数
大気測定	276(144基)	136	140
水質検査	0	1,464	△1,464
土壌検査	0	0	0
その他(計量対象外)	83	18	65
合計	359	1,618	△1,259

7 総務事項

(1) 理事会開催状況

令和元年6月期定例理事会

令和元年6月12日(水)

第1号議案

平成30年度事業報告(案)について

第2号議案

平成30年度決算(案)について

第3号議案

平成30年度公益目的支出計画実施報告(案)について

第1～3号議案について審議の結果、全会一致で承認されました。

報告事項1

任期満了に伴う理事・監事・改選事務局(案)について

報告事項2

任期満了に伴う代表理事・松崎充意理事長再任に関する書面理事会開催(案)について

報告事項3

新館建築計画進捗について

令和2年3月期定例理事会

令和2年3月9日(月)

第1号議案

魚谷知佳専務理事選任について

第2号議案

令和2年度事業計画(案)について

第3号議案

令和2年度収支予算(案)について

第1～3号議案について審議の結果、全会一致で承認されました。

報告事項1

当協会の新型コロナウイルス感染拡大防止策について

報告事項2

古河浩之新任理事選任・事務局(案)について

(2) 評議員会開催状況

令和元年6月期定例評議員会

令和元年6月28日(金)

第1号議案

任期満了に伴う理事・監事・改選事務局(案)について

第2号議案

平成30年度事業報告(案)について

第3号議案

平成30年度決算(案)について

第4号議案

平成30年度公益目的支出計画実施報告(案)について

第1～4号議案について審議の結果、全会一致で承認されました。

報告事項1

新館建築計画進捗について

令和2年3月期定例評議員会

令和2年3月24日(火)

第1号議案

古河浩之新任理事選任・事務局(案)について

第1号議案について審議の結果、全会一致で承認されました。

第2号議案

令和2年度事業計画(案)について

第3号議案

令和2年度収支予算(案)について

第2～3号議案について審議の結果、全会一致で承認されました。

報告事項1

当協会の新型コロナウイルス感染拡大防止策について

報告事項2

魚谷知佳専務理事選任について

8 啓発活動報告

公益活動の一環として、乳がん「かなざわピンクリボンプロジェクト」に参画し、がん早期発見のための啓発活動を行いました。

◇かなざわピンクリボンプロジェクト

開催日：令和元年9月23日(月・祝)

会場：しいのき迎賓館

内容：活動では、メッセージウォーク、メッセージイベント等の取り組みに参画し、乳がん検診の啓発に協力しました。

9 学会発表状況

第60回日本人間ドック学会学術大会

日時：令和元年7月25日(木)～26日(金)

会場：岡山

内容：データヘルス計画に基づいた委託保健事業での糖尿病重症化予防の効果について

発表者：木村 亜耶

第54回予防医学技術研究会議

日時：令和2年2月27日(木)～28日(金)

会場：盛岡市

内容：グリコスとHbA1cの正常者平均法による内部精度管理について

発表者：高田 智恵子

内容：高校生時の体格および10年後の体格の変化と成人期の健康診断結果との関連について

発表者：三野 富子

内容：当協会における働きやすい職場を目指した取り組みについて

発表者：山田 昌哉

内容：教育訓練進捗管理の新たな取り組みについて

発表者：山田 裕美

内容：ウェアラブル端末を活用した企業対抗健康づくり

発表者：見神 志郎

内容：心臓超音波検査を併用した学校心臓検診における過去4年間の実績報告

発表者：岩田 みどり

10 会議・研修実施状況

◇各種学会関係

第59回日本呼吸器学会学術講演会

4月12日 東京

2019国際医用画像総合展

4月13日 横浜市

第119回日本外科学会定期学術集会

4月19日～20日 大阪市

第116回日本内科学会総会・講演会

4月26日～27日 名古屋市

日本超音波検査学会学術集会

4月28日～29日 横浜市

第41回マンモグラフィ講習会(技術部会)

5月10日～12日 名古屋市

第68回日本医学検査学会

5月17日～19日 下関市

第92回日本産業衛生学会

5月22日～25日 名古屋市

第82回日本消化器内視鏡技師学会

5月31～6月1日 東京

RPA DIGITAL WORLD TOKYO 2019への参加

6月6日～7日 東京

第58回日本消化器がん検診学会総会、第34回医師認定研修会、第8回胃X線読影講習会

6月7日～8日 岡山市

第60回日本臨床細胞学会総会(春季大会)

6月8日～9日 東京

2019年度第1回AMED佐川班運営委員会、全国連絡会議

6月15日～16日 仙台市

第 62 回日本腎臓学会総会	6 月 21 日～22 日	名古屋市	広島県環境保健協会視察	11 月 7 日～8 日	広島市
日本総合健診医学会 精度管理研修会	6 月 22 日	東京	第 29 回日本乳癌検診学会学術総会	11 月 8 日～9 日	福井市
第 27 回日本乳癌学会学術集会	7 月 11 日～13 日	東京	第 47 回北陸公衆衛生学会	11 月 11 日	富山市
日本 CT 検診学会 2019 夏季セミナー	7 月 13 日	東京	第 58 回日本臨床細胞学会秋季大会	11 月 15 日～17 日	岡山市
第 60 回日本人間ドック学会学術大会、総会	7 月 24 日～26 日	岡山市	2019 年度 第 2 回 AMED 佐川班運営委員会	11 月 22 日	東京
第 43 回日本消化器内視鏡学会 学会セミナー	8 月 17 日～18 日	横浜市	日本産業衛生学会中小企業安全衛生研究会第 53 回全国集会	11 月 22 日～23 日	浜松市
第 26 回日本産業精神保健学会	8 月 30 日～31 日	東京	第 27 回日本消化器関連学会週間(JDDW2019 KOBE)	11 月 22 日～24 日	神戸市
第 11 回日本臨床一般検査学会及び第 17 回スキルアップ講習会	8 月 30 日～9 月 1 日	春日井市	第 83 回日本消化器内視鏡技師学会	11 月 23 日	大阪市
第 16 回日本乳癌学会中部地方会	8 月 31 日～9 月 1 日	名古屋市	2019 年度 日臨技臨床検査精度管理調査報告会	11 月 29 日～30 日	東京
第 66 回日本栄養改善学会学術総会	9 月 6 日～7 日	富山市	第 32 回健康スポーツ医学講習会後期	11 月 29 日～12 月 1 日	東京
2019 年度第 2 回 優良施設認定基準研修会	9 月 8 日	東京	第 60 回日本肺癌学会学術集会	12 月 7 日～8 日	大阪市
第 29 回日本産業衛生学会全国協議会	9 月 12 日～14 日	仙台市	日臨技中部圏支部研修会 「一般検査部門」	1 月 11 日～12 日	金沢市
腹部超音波検査研修会(中級コース)	9 月 27 日～28 日	東京	第 70 回デジタルマンモグラフィ品質管理講習会	1 月 18 日～19 日	東京
日本臨床検査自動化学会第 51 回大会	10 月 3 日～5 日	横浜市	農林水産省補助事業研修 HACCP 伝道師養成研修	1 月 28 日～30 日	大阪市
第 135 回医用超音波講義研修会	10 月 6 日	大阪市	第 21 回京都マンモグラフィ講習会(技術部門)	1 月 31 日～2 月 2 日	京都市
第 55 回日本医学放射線学会秋季臨床大会	10 月 17 日～19 日	名古屋市	日本総合健診医学会第 48 回大会	2 月 6 日～8 日	東京
採血における安全対策及び針刺し防止のための安全機構付き製品の選定について	10 月 26 日～27 日	名古屋市	第 27 回日本 CT 検診学会学術集会	2 月 7 日～8 日	東京
第 55 回マンモグラフィ更新講習会	10 月 26 日～27 日	東京	第 4 回人間ドック健診専門医研修会(指導医講習会)	2 月 8 日	東京
第 32 回健康スポーツ医学講習会前期	11 月 2 日～4 日	東京	第 39 回日本画像医学会	2 月 14 日～15 日	東京

第 23 回肺がん CT 検診認定技師定期講習会
 2 月 14 日～16 日 東京
 日本消化器内視鏡学会 第 47 回重点卒後教育セミナー
 2 月 15 日～16 日 横浜市

◇ 予防医学事業中央会関係

第 1 回保健指導委員会
 5 月 31 日 東京
 健康経営打合せ及び第 1 回全国運営会議、企画委員会
 7 月 9 日～11 日 東京
 第 1 回全国運営会議
 7 月 10 日～11 日 東京
 第 1 回常任企画委員会
 7 月 24 日～25 日 東京
 組織体制及び運営に関する意見交換並びに健診基幹システム視察
 8 月 20 日～22 日 沖縄県
 第 37 回 全国情報統計研修会
 8 月 29 日～30 日 宇都宮市
 予防医学事業推進全国大会前日打合せ・企画委員会・全国運営会議・全国大会
 11 月 20 日～22 日 高松市
 予防医学事業推進近畿・東海・北陸地区会議
 11 月 28 日～29 日 静岡市
 第 2 回保健指導委員会
 12 月 3 日 東京
 保健指導研修会
 12 月 19 日～20 日 東京
 全国業務研修会
 2 月 6 日～7 日 高崎市
 組織体制及び事業運営に関する意見交換
 2 月 12 日～14 日 沖縄県
 第 54 回全国予防医学技術研究
 2 月 26 日～28 日 盛岡市

◇ 全国労働衛生団体連合会関係

令和元年度定期総会
 6 月 13 日～14 日 東京
 検体検査研修会
 7 月 23 日～24 日 東京
 第 1 回中部地方協議会定例会議
 8 月 23 日 岐阜市
 選別聴力検査研修会
 8 月 28 日 東京
 健診機関職員研修会基礎コース
 12 月 19 日～20 日 大阪市
 保健師・看護師等研修会 労働衛生コース
 1 月 21 日～22 日 東京
 情報機器作業健康診断研修会
 1 月 27 日～29 日 東京
 生理機能検査研修会
 1 月 30 日～31 日 東京
 胸部 X 線研修会
 2 月 14 日 東京
 中部地方協議会第 2 回定例会議
 2 月 14 日 大垣市
 特殊健康診断研修会
 2 月 17 日～18 日 東京

◇ 日本作業環境測定協会関係

北信越支部運営委員会
 5 月 17 日～18 日 長野市
 北信越支部運通常総会
 6 月 21 日～22 日 長岡市
 作業環境測定士等対象の研修会
 9 月 19 日～20 日 八王子市
 北信越支部運営委員会
 11 月 8 日～9 日 富山市
 第 40 回作業環境測定研究発表会
 11 月 13 日～15 日 郡山市
 中堅作業環境測定士講習
 1 月 17 日 長岡市

作業環境測定士登録講習(第二種登録講習及び
実技 A 講習)

1 月 20 日～23 日 大阪市

◇ 全国給水衛生検査協会関係

34 条技術委員会及び研修会

9 月 27 日 名古屋市

簡易専用水道検査外部精度管理調査

11 月 8 日 名古屋市

第 2 回東海北陸支部 役員会

2 月 25 日～26 日 名古屋市

◇ 食品衛生指定検査機関関係

関西地区輸入食品登録検査機関懇談会

2 月 12 日～13 日 大阪市

業務管理研修会

2 月 14 日 京都市

「食品衛生法の一部を改正する法律」に基づく
政省令等に関する説明会

2 月 18 日 大阪市

◇ 労働基準協会関係

小松労働基準協会健康診断団体会議

5 月 13 日 小松市

奥能登地区労働基準協会健康診断事務連絡会

7 月 26 日 能登町

七尾労働基準協会健康診断実施連絡会議

2 月 5 日 七尾市

◇ 石川県予防医学協会集検事業管理指導委員
会関係

第 1 回 肺がん・結核部会

6 月 18 日 金沢市

第 1 回 大腸がん部会

7 月 8 日 金沢市

第 1 回 胃がん部会

7 月 10 日 金沢市

第 1 回 乳がん部会

8 月 30 日 金沢市

第 2 回 大腸がん部会

12 月 9 日 金沢市

第 2 回 肺がん・結核部会

12 月 10 日 金沢市

第 2 回 胃がん部会

12 月 11 日 金沢市

第 2 回 乳がん部会

1 月 31 日 金沢市

子宮がん部会

2 月 20 日 金沢市

学校保健部会

3 月 12 日 金沢市